

福島県相双農林事務所「相双地方ならではの農林水産業の再生を目指して～復興推進～」



農林水産業振興計画の基本目標

「もうかる」「誇れる」共に創るふくしまの農林水産業と農山漁村

農業産出額(県目標)
2,400億円

相双重点活動によるR5年度実績

①営農再開率48.6(54)% ②新規就農者数52(38)人以上/年 ③ほ場整備率71.0(70.5)% ④森林整備面積575(585)ha/年
()はR5目標値

農業産出額(相双目標)
200億円
農業産出額(相双)
R4 : 94億円

振興方向

I 東日本大震災及び原子力災害からの復興

- ① 避難指示解除や特定復興再生拠点区域等の整備の進捗に応じた農地・農林業施設の復旧
- ② 地域営農再開ビジョンの策定、地域の状況に応じた営農体制の構築、農林業の再開拡大を目指す方の施設整備の支援
- ③ 沿岸部の農地等を守る海岸防災林整備や、きのこ原木林再生に向け調査を踏まえた広葉樹林の更新などによる素材生産の拡大等を支援

III 地域の特性をいかした産地づくり

- ① 経営体に応じたスマート農林業や省力化技術の導入、経営規模拡大に対応する生産体系の導入、GAPの認証取得の推進等により収益性の高い農林業の実現
- ② 既存産地の復興と新たな産地形成、さらには、販売先を踏まえ市町村域を超えた広域的な生産・出荷体制の構築など、特色ある産地づくりを推進
- ③ 除染後農地の土づくりを進める中、大規模畜産施設整備に伴い地域資源を活用した耕畜連携を推進
- ④ 集成材等の製品製造拠点整備や木質バイオマス資源を利用する施設整備への支援を通じ、地元産はもとより、県産材の利用や木材の需要拡大を推進

II 持続的な発展を支える生産基盤の整備と担い手確保

- ① 担い手の営農条件を改善するため、ほ場整備による農地の大区画化及び農業用施設の整備等を推進
- ② 農用地利用改善団体の設立や人・農地プランの策定とその実現に向け、市町村等の取組を支援し、県内外からの多様な担い手の確保・育成と、農地の集積を推進
- ③ 市町村等と連携し、農林業の新規就業者等の定着や経営の体質強化に向けた取組と将来の就業につなげるための体験学習等を推進
- ④ 効率的な森林整備及び素材の生産拡大に必要な林業就業者の確保・育成を図るとともに、高性能林業機械の導入や林道等の路網整備を促進

IV 地域の特性をいかした農山漁村の形成

- ① 放射性物質対策と一体的に行う森林整備や、素材の生産拡大対策を推進
- ② 農業用ため池等の防災・減災対策や治山施設の整備による国土強靱化
- ③ 農林業・農山漁村の活性化を図るため、関係機関と連携した地域ぐるみによる鳥獣被害対策や、多面的機能支払制度等を活用した集落機能回復を推進
- ④ 食育活動による農山漁村への理解醸成、地域産業6次化の推進による販路の開拓の支援